

防災WGの体制 ①

地理空間情報産学官連携協議会

全体会議

(平成20年10月16日設置)

地理空間情報に係る課題認識と情報の産学官の間での共有を図り、もって、地理空間情報の効果的な活用を推進する

共通的な基盤技術に関する
研究開発ワーキンググループ

〔平成20年10月16日設置〕

防災分野における地理空間情報の
利活用推進のための基盤整備
ワーキンググループ

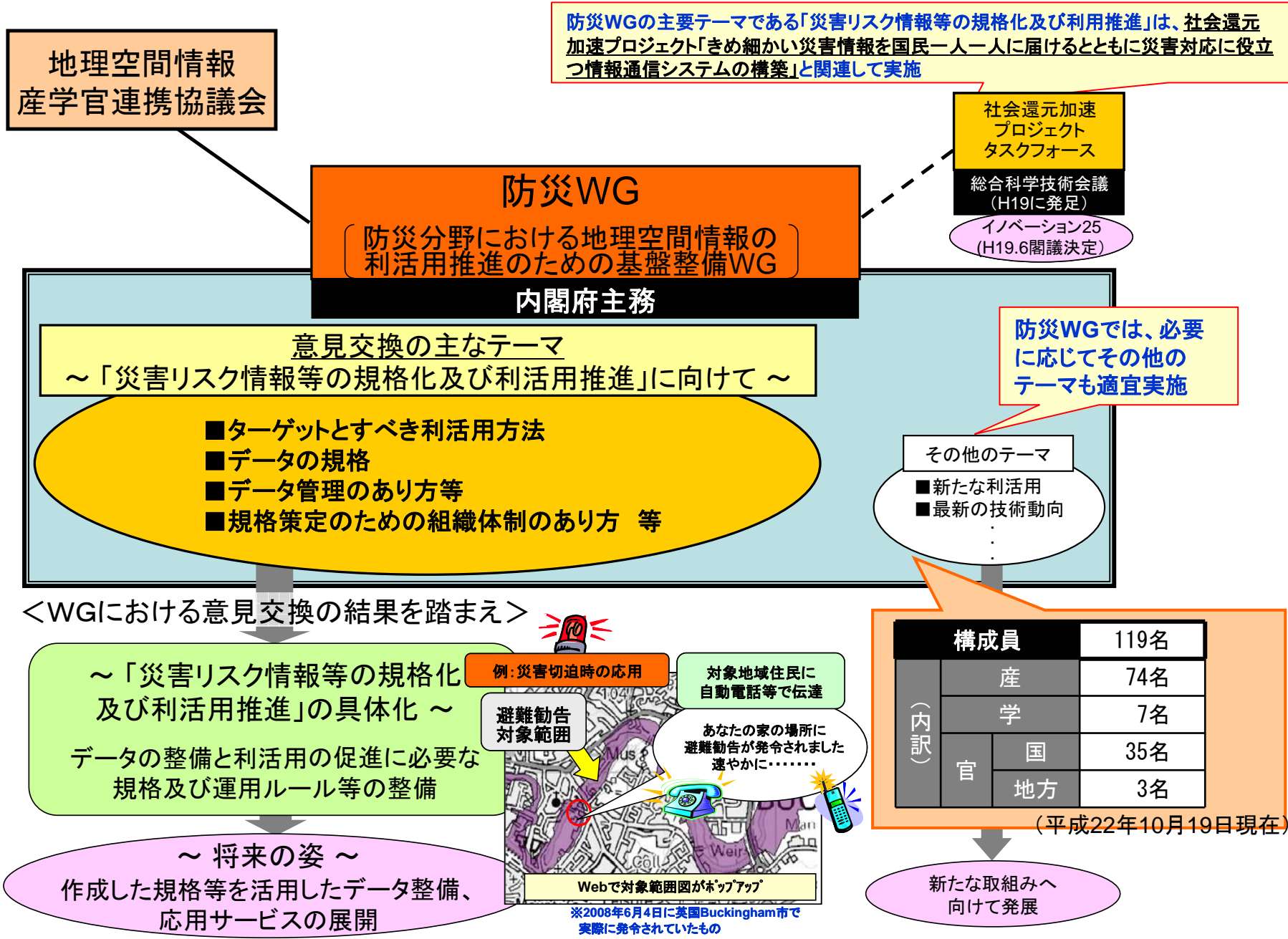
〔平成20年10月16日設置〕

防災分野における地理空間情報の利活用推進のための基盤整備に向けて、技術動向等に関する情報共有を図るとともに、今後の取組みの方向性について意見交換を実施することを目的とする

G空間EXPOに関する
ワーキンググループ

〔平成21年6月23日設置〕

防災WGの体制 ②



防災WGの主要テーマである「災害リスク情報等の規格化及び利活用推進」は、社会還元加速プロジェクト「きめ細かい災害情報を国民一人一人に届けるとともに災害対応に役立つ情報通信システムの構築」と関連して実施

防災WGでは、必要に応じてその他のテーマも適宜実施

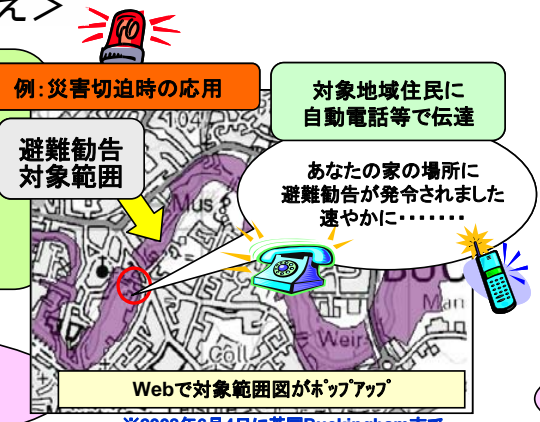
その他のテーマ

- 新たな利活用
- 最新の技術動向
- ...

- ターゲットとすべき利活用方法
- データの規格
- データ管理のあり方等
- 規格策定のための組織体制のあり方 等

<WGにおける意見交換の結果を踏まえ>

～「災害リスク情報等の規格化及び利活用推進」の具体化～
 データの整備と利活用の促進に必要な規格及び運用ルール等の整備



～ 将来の姿 ～
 作成した規格等を活用したデータ整備、
 応用サービスの展開

構成員		119名
(内訳)	産	74名
	学	7名
	官	35名
	地方	3名

(平成22年10月19日現在)

新たな取組みへ向けて発展

※2008年6月4日に英国Buckingham市で実際に発令されていたもの